

題 字  
初代会長 松野 盛吉  
定 価 1部 5円  
(購読料は年会費に含む)  
発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中泉 松之助  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760

# 消防救助技術秋田県大会



第三十八回消防救助技術秋田県大会「陸上の部」が平成二十一年六月三十日(火)、由利本荘市の秋田県消防学校屋外訓練場で行われた。県内十三消防本部から二百二十八人が出場し、日頃鍛えた救助技術を競った。

大会では、加藤哲実大会会長(秋田市消防長)がこの大会は、高度な救助技術の錬磨と、いかなる災害活動にも耐えうる強靱な体力・精神力を養うことを目的に、昭和四十七年から毎年実施してきた。皆さんは今日の大会に向けて、汗水流して体力の限界まで訓練を続けてきたと思う。是非とも全員が納得のいく結果を出し、この後の東北指導会、全国大会へと繋げていって欲しい」と訓示した後、出場隊員を代表して男鹿地区消防本部の西方大隊長が「救助隊員一同は、愛・技・絆の救助精神のもとに、日頃鍛えた救助技術の成果を発揮し、



加藤大会会長

正々堂々競技する」と宣誓し、訓練が始められた。訓練は、訓練棟に張られた長さ二十メートルのロープを往復する「ロープブリッジ渡過」やマンホールなど地下での救助を想定した「引揚救助」、技術訓練では「都市型救助による低所救出(展丕)」など七種目で行われた。「ほふく救出」に出場した五城目町消防本部の猿田陽一隊員は「訓練してきた成果を出せず残念な結果となった。大会に出て欠点や課題がはつきりしたので、一層訓練に励み、来年は上位入賞を目指したい」と語った。

訓練終了後、高橋庄孝審判長(大曲仙北広域市町村圏組合消防長)は「救助技術は確実に年々レベルアップしているが、引

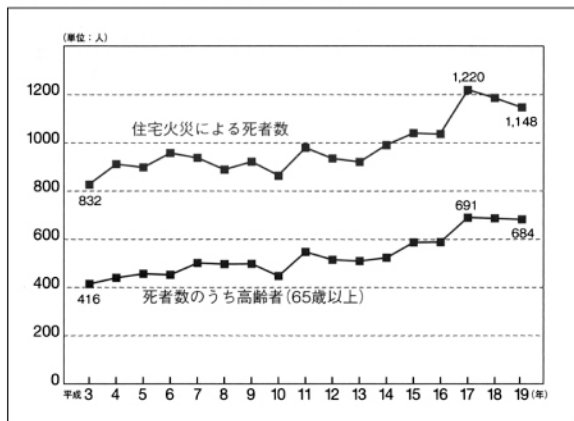
平成二十一年度全国統一防火標語  
『消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子』



揚救助やはしご登はんなどの種目で行動減点が多く見られた。基本を大切に、より一層の救助技術の錬磨と研鑽に努めてもらいたい」と今大会を講評した。引き続き行われた秋田県消防長会議では、六月二十五日(木)、県大会としては初めて開催された「水上の部」と併せ、全国大会・東北指導会への出場者選考が行われ、出場する個人・チームが決定した。

	訓練種目	消防本部名	隊員名(チーム名)	大会名
陸上の部	ロープブリッジ渡過	能代山本広域	幸坂和人	全国
	引揚救助	北秋田市	鈴木博喜チーム	東北
		秋田市	伊藤章チーム	東北
		湯沢雄勝広域	高橋靖チーム	東北
	はしご登はん	大館市	渡部祐輝	全国
	ロープブリッジ救出	鹿角広域	石川洋チーム	東北
		大曲仙北広域	三浦祐樹チーム	東北
	ほふく救出	能代山本広域	佐藤崇宏チーム	東北
	ロープ応用登はん	秋田市	藤原宏幸チーム	全国
	技術訓練	大館市	神田圭吾チーム	全国
水上の部	障害突破	能代山本広域	佐藤俊之チーム	東北
		秋田市	石川綱紀チーム	東北
	基本泳法	横手市	環貴淳チーム	東北
		にかほ市	佐々木佑誠	東北
		横手市	中川原誠裕	東北
	人命救助	秋田市	原泰和	東北
		秋田市	吹谷謙和	東北
	溺者救助	秋田市	大塚良樹チーム	東北
		秋田市	吹谷謙和チーム	東北
	水中結索	横手市	新宮良憲チーム	東北
		湯沢雄勝広域	永井大介チーム	東北

我が国の住宅火災死者数の推移



■住宅火災の現状  
近年、住宅火災による死者数が増えている。  
平成十五年から十九年まで五年連続して一、〇〇〇人以上の方が住宅火災で亡くなっている。平成十七年は、デ

法改正と設置状況

平成十六年に消防法が一部改正され、すべての住宅に住宅用火災警報器(以下、「住警器」という。)の設置が義務づけられた。  
その後、住警器の設置普及が進み、平成二十一年三月末の全国の推計普及率は四十二%となり、次第に住警器の効果や課題等が明らかになってきたことから、改正消防法の概要や住警器の効果と課題、住警器に関する秋田県消防協会の動き等について報告する。

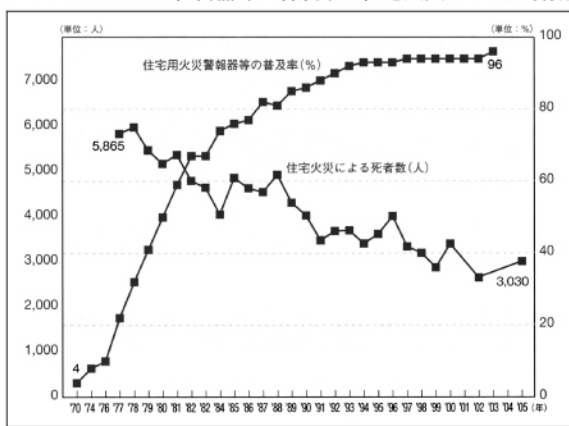


■設置の義務化  
このような実情を踏まえ、住宅火災による死者数の低減を目的に、平成十六年六月二日に消防法が一部改正され、すべての住宅について、平成二十三年六月一日には、住警器の設置が義務づけられることとなった。  
新築住宅の場合は、平成十八年六月一日から住警器の設置が義務づけられている。  
一方、既存住宅の場合には、設置義務化の期日については、市町村条例で定めることとなっているが、本県では、全市町村が平成二十三年五月までとなっている。

一タのある昭和五十四年以降で最高の一、二二〇人にも上り、平成十八年もそれに次ぐ一、一八七人、平成十九年には一、一四八人の死者数を記録した。  
住宅火災で亡くなった人のうちの約六割は「逃げ遅れ」が原因で命を落としている。早く火災の発生を知っていれば、助かった方も多かったのではないかと推測される。

■普及状況と種類  
消防庁の推計によれば、平成二十一年三月末時点の普及率は、全国では四一・六%、秋田県は一七・〇%と低い水準にある。  
住警器の種類については、火災を感じする方法によって、「煙式」と「熱式」に大別されるが、原則は「煙式」を設置することとなっている。  
一方、住警器が接続しているかどうかで分類すると、火災を感じた住警

アメリカにおける住警器等の普及率と住宅火災による死者数



■設置の効果  
アメリカでは、住警器の設置義務化等により普及が進んだのに伴い、住宅火災による死者数は一九七〇年代の六、〇〇〇人程度から最近では三、〇〇〇人程度まで半減している。  
また、日本でも東京消防庁では、住警器の作動により住宅火災の死者数は三分の一に減少したと報告している。

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協立  
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3  
TEL (0185) (52)6361  
(52)6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

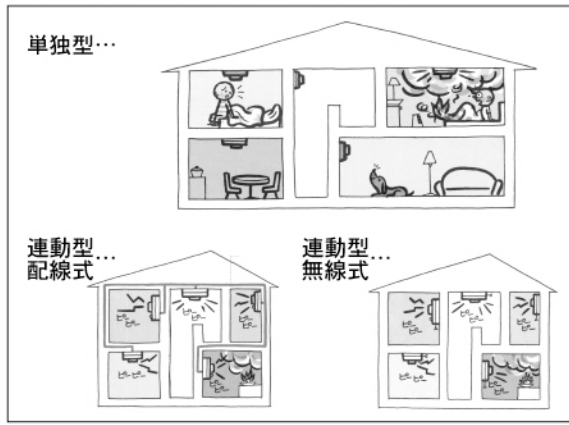
設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)  
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

器だけが警報を発する「単独型」と、火災を感じた住警器だけでなく、接続されているすべての住警器が警報を発する「連動型」がある。  
全国で普及しているのは、「単独型」が大部分であろうと思われる。

「単独型」「連動型」の設置概念図



県協会の対応

■住警器を巡る新たな課題

住警器の設置が義務化された後も、各地で相次ぐ住宅火災の中に、住警器を付けていても死亡するケースが出ている。

こうした状況に鑑み、当協会では、住警器に関し、昨年度から(社)秋田県建築士会等と連携しながら勉強会を開催しているほか、住宅火災による死亡事例や実証事例を基に検討してきた結果、次のような課題が明らかになった。

① 最近の住宅は、高気密、高断熱志向で各室の遮音性が高く、隣室であっても警報音に気付かないケースがあること。

② また、従来の住宅に比べ、最近の住宅は開口部を小さくする傾向にあるので、火災時の避難が困難になっていること。

③ 単独型住警器を複数設置しても、最初の警報音から次の作動まで時間がかかり、逃げ遅れになる可能性があること。

④ これらの危険性を回避できるのが連動型住警器と考えられるが、その設置費が単独型と比べ高価であること。したがって、既存住宅への普及には困難を伴うこと。

■市長会・町村会への要望

当協会としては、明らかになった課題を踏まえ、かつ、地域住民の生命の安全性確保の観点から、有効性が高いと認められる「連動型住警器」の設置を、主に新築住宅を対象に推進することとし、秋田県市長会会長及び秋田県町村会会長に対し、住宅を新築される建築主に連動型住警器を設置するよう指導していただきたく、平成二十一年六月五日、要望書を提出した。

■六月定例県議会

平成二十一年六月定例県議会で、当協会副会長の中田潤県議会議員は一般質問で「連動型住警器は、単独型に比べ住宅火災での逃げ遅れ防止に、より効果があると考えられるが、県として連動型を推進する考えはないか」と質したのに対し、佐竹敬久秋田県知事は

「住警器には単独型と連動型があるが、どのような住警器にするかは、使用者が、間取りや家族構成等に依じて選択すべきものと考えている。消防庁が推計した普及率によると本県は十七%と低い状況にあることから、普及率向上を図っていくことはもとより、連動型を含む住警器の種類や特徴などについて、県民に情報提供していくことも重要と認識している」と答えた。

住警器普及促進のために

■秋田県の動き

秋田県では、今年十月八日、「地域ぐるみで推進する住宅防火：住宅用火災警報器等を設置しよう」をテーマに秋田市で開催予定の「住宅防火対策推進シンポジウム」において、様々な住警器を展示するなどして、住警器の普及と住宅防火への関心、意識を高めることとしている。

■県協会の動き

当協会では、住警器の適正な設置促進活動を助長するため、消防団員を対象に住警器設置推進に関する指導員研修を、支部が行う教養研修事業に組み入れて実施することとしている。多くの団員の受講を期待している。

【参考資料】

○住宅用火災警報器

Ⅱ設置推進マニュアルⅡ

(財)日本消防協会

○住宅用火災警報器普及率の推計結果  
総務省消防庁予防課

支部消防操法大会始まる

Ⅱ全県大会出場を目指してⅡ

第四十六回秋田県消防操法大会は、来る九月三日(木)、由利本荘市の秋田県消防学校で行われる。

この全県操法大会への出場を目指して、それぞれの支部操法(訓練・競技)大会が、鹿角支部の七月五日(日)を皮切りに順次開催される。

団員の皆さんには、日頃鍛えし技を存分に発揮され、今後の消防活動に一層精進されますことを期待したい。

なお、全県大会は「小型ポンプ操法」「ポンプ車操法」「総合」の三部門で競われる。

平成21年度 秋田県消防協会支部訓練大会等日程

支部名	開催月日	開催場所
鹿角支部	7. 5(日)	鹿角市役所駐車場
大館北秋田支部	7. 19(日)	北秋田市 森吉地区 森吉野球場駐車場
能代市山本郡支部	8. 2(日)	能代市浜通町地内 ふ頭用地
男鹿潟上南秋支部	7. 26(日)	五城目町雀館運動公園駐車場
秋田市支部	7. 26(日)	秋田市消防訓練場(秋田市御所野)
本荘由利支部	7. 25(土)	にかほ市消防本部前
大仙市仙北市美郷町支部	7. 18(土)	大仙市 雄物川運動公園
横手市支部	8. 2(日)	雄平橋上流河川敷運動広場
湯沢市雄勝郡支部	7. 25(土)	湯沢河川敷運動広場 松ノ木グラウンド

# 支部情報アラカルト

## 婦人防火クラブ員等と 女性団員との交流会

能代市消防団

地域の防火、防災活動に携わる女性  
同士の交流会が、六月七日、能代公園  
を会場に行われました。

この交流会は、自主防災組織と非常  
備消防の女性同士の交流を深め、今後  
の活動に活かそうと開催されたもので、  
能代市消防団、能代市婦人防火クラブ  
連合委員会、独自に自主防災活動を行  
っている上町自治会から約三十人が参  
加しました。

はじめに研修として、能代市消防団  
の中田団長による住宅用火災警報器の  
説明や、上町自治会による炊飯袋を使  
った炊き出しの実演が行われ、その後、  
昼食、ゲームなども交えながら、和や  
かに交流を深めました。

参加者は、お互いのこれまでの取り  
組みに理解  
を深めなが  
ら、住民の  
生命と財産  
を災害から  
守るとい  
う共通した  
任務に、連  
携を図って  
努めていく  
ことを誓い  
合いました。



炊飯袋を使った炊き出し

(情報提供) 能代市山本郡支部

# 支部事務担当者会議

平成二十一年度秋田県消防協会支部  
事務担当者会議が六月十一日(木)、秋  
田市の「ルポールみずほ」で開催され  
た。

会議は、各支部から担当者十二名、  
秋田県総合防災課からは今泉班長ら三  
名が出席して行われ、事務局から平成  
二十一年度に係る事業計画、支部の事  
務事業の取扱方針、当協会の定例表彰  
等について説明を行った後、県総合防  
災課からは、支部消防操法(訓練、競  
技)大会等における知事表彰の取扱い  
について説明があった。

この中で県総合防災課は、知事が行  
う表彰等に関し、第四期行財政改革プ  
ログラムの中で見直しが行われ、今年  
度から各支部消防操法大会における知  
事表彰は行わないとの見解が示された。  
なお、県操法大会での知事表彰は、従  
来からの上位三チームのほかに、小型  
ポンプ操法とポンプ車操法の部門では、  
三位までに入賞しなかったチームに対  
し「優秀賞」として知事賞を授与する  
方針であるとの説明がなされた。

### 【主要事業の概要】

- 定例表彰上申期限 八月二十日
- 日本消防協会 八月二十八日
- 秋田県消防協会 八月二十八日
- 火災予防団体育成事業 九十万円
- 支部事業費予算額 九十六万円
- 消防団員教養研修 八万円
- 研修費予算額 九十六万円
- 女性消防団活動助成事業 八万円
- 団当たり助成上限額 八万円

## 【事務局から】

「支部情報アラカルト」への  
情報提供のお願い

「消防秋田」では、今年の五月十五  
日号から「支部情報アラカルト」コー  
ナーを設け、各支部の情報を皆さんに  
お届けしております。

支部や地域で開催された消防行事、  
大会、ユニークな活動など、様々な情  
報を事務局までお寄せ下さい。お待ち  
しております。

電話 〇一八一八六七七三二〇  
FAX 〇一八一八六三一五九一〇

### ■事務局休みのお知らせ

今年のお盆休みは八月十三日(木)  
と十四日(金)の二日間とし、協会事  
務局を休ませていただきますので、よ  
ろしくお願いいたします。

旗 団 帯 天 半 防 消  
旗 ケ ッ ゼ ・ 旗 勝 優  
の れ ん ・ の タ オ ル ・ 拭 手  
専 門 染 物 入 名 類 幕 旗

## 寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋田県代理店

総合防災設備センター

## 株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 消防報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
☎(0183)(42)2125

〒012-0844 湯沢市田町 ☎(0183)(73)2588

## 株式会社 夕 カ ギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880

### (営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シパウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)